

せたがや生涯現役ネットワーク 令和4年度総会 議案書

次 第

(1) 議案審議

第1号議案	令和3年度事業報告について……………	p.1
第2号議案	令和3年度決算・監査報告について……………	p.11
第3号議案	令和4年度世話人および役職の選任について……………	p.13
第4号議案	令和4年度事業計画について……………	p.14
第5号議案	令和4年度予算計画について……………	p.24
第6号議案	会則変更について……………	p.28

(2) 報告

第1号報告	会員入・退会について……………	p.29
-------	-----------------	------

第1号議案 令和3年度事業報告について

(1) プロジェクト

令和3年度「せたがや生涯現役ネットワーク」 プロジェクト報告書	
プロジェクト名	世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会
開催日時	令和4年3月19日7:10～20日19:00（1泊2日）
会場	銚子市・銚子電鉄、大多喜町・大屋旅館、いすみ市・ポッポの丘
事業主体	主体となる団体：世田谷風景じゆく 連携する団体：世田谷砂場クラブ
テーマ	「コロナ禍で探る世田谷の原風景」の企画に基づいて、世田谷にゆかりの車両等に関連した千葉県内の施設群を巡る1泊2日の見学会を企画し、多くの同好者を集めて新しい交流・親睦を図る。
趣旨	かつて世田谷を走った電車が、2度の定年退職を経て、今も銚子電鉄で現役続行中。大多喜町大屋旅館は、かつての三軒茶屋の石橋楼を彷彿させる文化財でかつ現役の旅館。ポッポの丘には世田谷でかつて活躍した電車の台車に再会できる。こうした世田谷にゆかりの車両・旅館を効率的に見学する会を催すことで、ネットワーク加盟団体の会員あるいは区内の鉄道ファンが交流する場を提供する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・見学会を企画（会議と下見） ・参加者募集（チラシ配布=別紙1、生涯現役ネットワークHPに記事掲載、生涯現役フェア=右の写真） ・実施（別紙2参照、参加者数=6名、参加団体=世田谷風景じゆく、世田谷砂場クラブ、世田谷環境学習会、世田谷地域デビューの会） ・報告書を作成（参加者アンケート、実施者の気づき）公開し、今後の類似した交流事業の促進に役立てる。 ←本書にて報告。 <p>参加者アンケート=4月2日(土)に参加者全員が市民緑地のある松原1丁目日章館亀井邸に集まって「持ち寄り食事会」を開き、旅の振り返りをした。感想として「面白かった、次回も参加したい。」「旅館が良かった。」「旅程がゆったりしているのんびり田舎を楽しめた、旅行会社パックスツアーのあくせくした感じと違って良かった。」など。</p> <p>実施者の気づき=貸切りバスでの移動を当初企画したが、すべて鉄道移動に変更して実施したところ、旅の魅力が増し、観光地巡りの効率や経済性で大差なく正解だった。なお、見学先の選択に改善余地がいくつかあったので、同一ルートで再度実施したい。</p>
今後の展開	令和4年度もほぼ同一ルートで見学先改善した1泊2泊の旅を企画をして、より多くの参加者を集めて実施したい。
会計報告	収入：プロジェクト費10,000円 交通費宿泊費は各自精算とし、参加費を徴収しなかった。
	支出：チラシ作成費10,000円（別紙3に納品書と領収書。チラシデザイン含めて制作委託、A4判片面カラー印刷100部）



「世田谷の原風景」に拘って活動する世田谷風景じゆく

生涯現役ネットワーク 令和3年度プロジェクト
世田谷風景じゅく/世田谷砂場クラブ 共同企画

世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会

日程：令和4年3月19日(土)、20日(日) 1日目 東京7:37発 2日目 東京18:00着

費用：運賃・宿泊費(1泊2食)・送迎&入場料の実費を各自負担(21,000円)

定員：8名(2月25日時点で募集中の残席数：4名分)

→1日目：総武本線・銚子電鉄・東金線・外房線・いすみ鉄道

←2日目：いすみ鉄道・小湊鉄道・内房線・京葉線



銚子電鉄：かつて世田谷を走っていた京王線の車両が第2の地を経て第3の地 銚子で現役車両として走っている姿に再会します。

大屋旅館：三軒茶屋の石橋楼を彷彿とさせる同年代・同形式の旅館。重要文化財であり且つ現役、実際に宿泊して建屋内・おもてなしも堪能します。

ポッポの丘：沢山の昔懐かしい電車、各種体験もできるユニークな車両展示施設です。世田谷区にお住いの鉄道ファンの方、一人ではなかなか行けない所なので、この機会を是非ご利用ください。

【申込み・問い合わせ先】 世田谷風景じゅく代表 福澤 清

TEL:090 9344 9145

e-mail: fukuzawa-k@com.home.ne.jp

別紙2. 旅のしおり・写真

生涯現役ネットワーク 令和3年度プロジェクト
世田谷風景じゆく/世田谷砂場クラブ 共同企画
世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会

集合時刻: 令和4年3月19日(土) 午前7:10

集合場所: 新宿駅中央線快速東京行きホーム7番線進行方向後ろの方



1日目 3月19日(土) 新宿—中央線—御茶ノ水—総武線—錦糸町

特急しおさい1号
錦糸町—総武本線—銚子—銚子電鉄—仲ノ町—銚子電鉄—犬吠—銚子電鉄—外川—銚子電鉄—銚子
7:46発 9:34着 10:20発 10:22着 11:17発 11:35着 13:32発 13:34着 14:34発 14:53着
駅前散策30分 車庫見学45分 灯台観光・昼食・売店 街中散策50分 駅売店

特急わかしあ13号
銚子—総武本線—成東—東金線—大網—外房線—大原—いすみ鉄道—大喜多
15:46発 16:41着 16:45発 17:05着 17:46発 18:11着 18:17発 18:46着

大喜多—徒歩14分—大屋旅館
18:46発 19:00着

2日目 3月20日(日)

大屋旅館—大喜多可敷駅—大喜多—いすみ鉄道—国吉—送迎車—ポッポの丘—送迎車—国吉
9:00発 10:50着 10:57発 11:08着 11:10発 11:20着 13:10発 13:20着
酒造所・お城・庁舎など 観光・昼食 駅売店

国吉—いすみ鉄道—大原—外房線—上総ノ宮—外房線—東京
13:37発 13:54着 14:20発 14:37着 14:39発 18:00着

国吉—いすみ鉄道—上総中野—小湊鐵道—養老溪谷—小湊鐵道—五井—内房線—東京
12:40発 13:36着 14:50発 15:00着 16:05発 17:56着 18:03発 19:00着

駅—宝術橋—黒川沼—深谷橋—駅の短いコースもお楽しみ

2020年11月

養老溪谷駅からあまり歩かずに観光しようとする宝術橋—黒川沼—深谷橋—駅を散策。徒歩10分位でそれぞれの区間を歩きました。宝術橋から見上げる深谷橋も良かったですが、黒川沼や深谷橋に行く途中の紅葉、鎌倉地蔵、木々の花、深谷橋等、趣ある風景でした。行き交う人も少なく穴場スポットかと思いました。深谷橋から駅に戻る途中にはラーメン屋さんもあり、素朴な醤油ラーメンも食べられました。



犬吠崎



大多喜町役場と水仙



いすみ鉄道
ランタン電車



いすみ鉄道
沿線 菜の花



大多喜小学校と
大多喜城



いすみ鉄道終点
上総中野駅



養老溪谷駅



小湊鐵道
トロッコ列車

別紙3. チラシ、納品書、領収書

納品書

発行日: 2022年3月3日 注文No: 2022-002
 東京都世田谷区上祖師谷1-37-4-402

世田谷風景じゆく 御中

そふと電鉄クラブ株式会社
 154-0022
 東京都世田谷区梅丘1-10-4
 電話番号:080-3385-1363
 E-mail: granpa@sohurai.com

ご注文日 2022年2月14日
 出荷日 2022年3月3日
 納入先 世田谷風景じゆく

件名	項目		合計数量		1式
「世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会」募集中の制作	No	数量	単位	備考	
	1	1	式	カラーA4判白紙片面	
	2	100	部	A4片面カラー-光沢紙(コート) 標準:90kg	
備考:			合計数量	1	式

領収書

発行日: 2022年3月3日 領収書No: 2022-002
 東京都世田谷区上祖師谷1-37-4-402

世田谷風景じゆく 御中

そふと電鉄クラブ株式会社
 154-0022
 東京都世田谷区梅丘1-10-4
 電話番号:080-3385-1363
 E-mail: granpa@sohurai.com

受取日 2022年3月3日

以下につきまして、確かに領収いたしました。

件名	合計金額			10,000 円
「世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会」募集中の制作	No.	数量	単価(税込)	合計
	1	1	9,000	9,000
	2	100	10	1,000
計(税込)				10,000
うち消費税額				(909)

(2) 補助事業

令和3年度補助事業 生涯現役フェア 完了報告書

事業の名称	「第15回 生涯現役フェア」 テーマ“SDG s”
事業の実施期間	令和4年2月20日(日) 13時30分～17時
事業の実施場所	成城ホール(オンライン配信会場)
参加人数	無観客(オンラインのみ) 動画再生回数約1200回
本事業のねらい	<p>・せたがや生涯現役ネットワークの目的は、区民の地域活動への参加促進と活動機会の拡大である。コロナ禍のため昨年同様、イベント開催を特別講演も含めオンラインのみとし、どうしたら加盟団体を区民に紹介できるか考え、相互協力し、知恵を出し合った。事前と当日に撮影した動画などをYouTubeライブを通して参加加盟団体を紹介し、生涯現役ネットワークホームページからも視聴できるようにした。また、事後チラシを作成することによって未加入の地域活動団体の加入促進につなげることもねらった。</p>
実施概要	<p>13:30～13:35 実行委員長開会挨拶、保坂区長挨拶 13:35～14:20 招待講演 北澤 豪氏(元サッカー日本代表) テーマ「スポーツ・地域活動とSDG s」 14:20～15:00 紹介動画配信 3団体、ブース録画 4団体 15:10～16:10 舞台ライブ配信(6団体) 17:00 閉会挨拶</p> <p>※コロナ禍のためすべて収録動画・ライブ動画としてYouTubeライブにて配信した。ホールの座席を前数列残してフラットにし収録現場においても3密をさけるために席の間隔をあけ、換気を行い、検温、手指消毒、マスク着用など新型コロナウイルス対策を徹底し実施した。加盟団体全てにYouTubeのURLを送り、当日視聴できなかった人に対して後日視聴できる体制を作った。また、安全作業のためのリスクアセスメント活動表を掲示し、実行委員一人一人に危険予知(KY)の意識を高めた。</p>
実施までの経緯	<p>4月 令和3年度総会でせたがや生涯現役ネットワーク補助事業の実施が提案され承認された。</p> <p>6月 ネットワーク加盟団体宛に実行委員募集通知送付</p> <p>8月6日 第1回イベント実行委員会(Zoom+梅丘分庁舎)</p> <p>9月3日 第2回イベント実行委員会(Zoom+梅丘分庁舎) ・講演候補者の交渉順位、イベント周知方法、講演のテーマ</p> <p>9月30日 第3回イベント実行委員会(Zoom+梅丘分庁舎) ・チラシのデザイン案の検討、当日のライブ配信方法</p> <p>10月20日 第4回イベント実行委員会(せたがやがやがや館) ・プログラム内容、役割分担検討。出展申し込み報告。</p> <p>11月26日 第5回イベント実行委員会(せたがやがやがや館) ・チラシ内容の最終確認 ・役割分担の決定・団体説明会の細部検討 ・招待団体候補 ・録画収録の段取り</p> <p>12月9日 参加団体への説明会開催(世田谷文化生活情報センター セミナールーム)</p>

	<p>コロナ対策と当日の手順・役割・会場の配置などの説明</p> <p>12月20日 成城ホールとの打ち合わせ 利用設備品、照明・音響、時間割など</p> <p>2月1日 臨時イベント実行委員会 (Zoom) ・開催判断の時期、動画撮影、編集、配信の段取り ・予算内訳、コロナ対策の確認、開催判断基準を策定</p> <p><1都3県に1月8日～2月7日緊急事態宣言発令を受けて></p> <p>2月3日 ネットワーク世話人会にイベント実行委員【MC+IT班計6名】が出席した。(ひだまり友遊会館+Zoom) 舞台発表団体へ事前収録動画配信かライブ配信かの確認、ブース出展団体へ無観客開催決定の通知。</p> <p>2月15日 第6回イベント実行委員会 (Zoom) ・会場の配置・手順・組織図(コロナ禍を踏まえてダブルキャスト体制)などの改訂、緊急連絡網作成</p> <p>3月3日 反省会 (Zoom)</p>
事業成果の考察	<p>会場の温度が高く、機械がオーバーヒートして放映中断という不測のトラブルが発生した時も慌てることなく、MCやIT班、実行委員が臨機応変にフォローし合い、終了時間を超過することなく予定していたプログラムをすべて終了できたことは、本事業の目的でもある「加盟団体の相互協力と知恵を出し合う」体制の構築に役立ったと考えられる。各団体の口コミなどで再生回数が1200回まで伸びたことも加盟団体がそれぞれ帰属意識を持って行動した結果だと推察する。今後、新しい団体紹介のパンフレットを活用しながら、区民の地域活動への参加促進と活動機会の拡大につながることを期待したい。</p>
今後の課題	<p>生涯現役ネットワークの加盟団体を増やし、多種多様な活動に区民が参加し、名実ともに生涯現役で活躍し、区民1人1人が生き生きと生活できる世田谷区になることが課題である。CSRの見地から企業にもネットワーク加盟を促進し、「生涯現役フェア」に参加することを通して社会貢献の一助となつてほしいと願う。</p>

令和3年度補助事業「シニアの社会参加しくみづくりプロジェクト」完了報告書

事業の名称	シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト																																																																							
事業の実施期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日																																																																							
事業の実施場所	世田谷区内5地域（世田谷、北沢、玉川、砧、烏山）																																																																							
参加人数等	<p>1、実行委員会（全23名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯現役ネット構成団体の公募の委員（10名） ・世田谷区社会福祉協議会推薦の地区サポーターの委員（9名） ・世田谷ボランティア協会推薦のボランティアの委員（2名） ・実行委員からの推薦委員（2名） <p>2、PJの開催イベント参加者（延べ200名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者（延べ137名） ・講師（延べ28名） ・実行委員含む当日スタッフ（延べ35名） 																																																																							
事業の実施結果	<p>1、実行委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/5_PJ 実行委員会（準備会） ・7/28_PJ 実行委員会（1） ・8/13_勉強会（第1回） ・8/30_PJ 実行委員会（2） ・9/13_勉強会（第2回） ・9/21_PJ 実行委員会（3） ・10/13_PJ 実行委員会（4） ・11/8_PJ 実行委員会（5） ・12/2_PJ 実行委員会（6） ・1/12_PJ 実行委員会（7） ・2/7_PJ 実行委員会（8） ・3/7_PJ 実行委員会（9） ・3/25_PJ 実行委員会（有志会合） <p>2、開催イベントの内容</p> <p>（1）イベント・講座</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>開催日</th> <th>イベント名</th> <th>参加者</th> <th>スタッフ</th> <th>講師 発表者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">世田谷</td> <td>12月4日</td> <td>紙芝居で知る世田谷の歴史</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>12月11日</td> <td>紙芝居から考えるまち歩き</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北沢</td> <td>12月4日</td> <td>深秋の文学散歩</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3月12日</td> <td>男性の地域参加のすすめ</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">烏山</td> <td>12月4日</td> <td>ノルディックウォーキング体験</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>12月12日</td> <td>誰でも参加できる「地域活動」と地域の友人をつくる「活動団体」の紹介</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砧</td> <td>12月11日</td> <td>砧の名水めぐり</td> <td>21</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1月15日</td> <td>シニアの社会参加のための体験講座</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">玉川</td> <td>12月4日</td> <td>国分寺崖線と戦国の城めぐり</td> <td>25</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>12月19日</td> <td>社会参加ワークショップ</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>（参加者数の合計）</td> <td>137</td> <td>35</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>					地域	開催日	イベント名	参加者	スタッフ	講師 発表者	世田谷	12月4日	紙芝居で知る世田谷の歴史	24	3	9	12月11日	紙芝居から考えるまち歩き	16	3	—	北沢	12月4日	深秋の文学散歩	8	3	—	3月12日	男性の地域参加のすすめ	12	3	1	烏山	12月4日	ノルディックウォーキング体験	8	2	1	12月12日	誰でも参加できる「地域活動」と地域の友人をつくる「活動団体」の紹介	8	3	4	砧	12月11日	砧の名水めぐり	21	4	1	1月15日	シニアの社会参加のための体験講座	5	5	4	玉川	12月4日	国分寺崖線と戦国の城めぐり	25	4	1	12月19日	社会参加ワークショップ	10	5	7			（参加者数の合計）	137	35	28
地域	開催日	イベント名	参加者	スタッフ	講師 発表者																																																																			
世田谷	12月4日	紙芝居で知る世田谷の歴史	24	3	9																																																																			
	12月11日	紙芝居から考えるまち歩き	16	3	—																																																																			
北沢	12月4日	深秋の文学散歩	8	3	—																																																																			
	3月12日	男性の地域参加のすすめ	12	3	1																																																																			
烏山	12月4日	ノルディックウォーキング体験	8	2	1																																																																			
	12月12日	誰でも参加できる「地域活動」と地域の友人をつくる「活動団体」の紹介	8	3	4																																																																			
砧	12月11日	砧の名水めぐり	21	4	1																																																																			
	1月15日	シニアの社会参加のための体験講座	5	5	4																																																																			
玉川	12月4日	国分寺崖線と戦国の城めぐり	25	4	1																																																																			
	12月19日	社会参加ワークショップ	10	5	7																																																																			
		（参加者数の合計）	137	35	28																																																																			

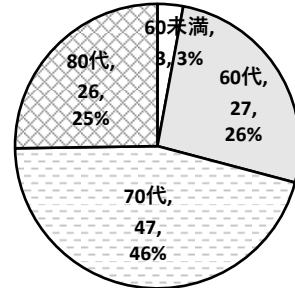
事業の成果の具体的な内容

- 1、本P Jの記録（報告）など
 - (1) 実行委員会（全11回）の議事録
 - (2) 5地域の企画GRのイベント実施報告書
 - (3) イベント参加者アンケート
- 2、参加者アンケートの集計結果から本P Jの参加者の様子を成果として示す。回答者数103名（延べ参加者137名）回答率75%

回答者の年代

年代	回答者数	割合
60未満	3	2.9%
60代	27	26.2%
70代	47	45.6%
80代	26	25.2%

103

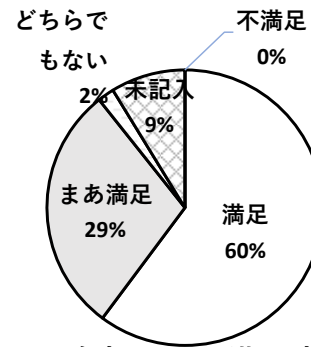


年代別参加者数、%

参加しての満足度

満足度	回答数	割合
満足	62	60.2%
まあ満足	30	29.1%
どちらでもない	2	1.9%
未記入	9	8.7%
不満足	0	0.0%

103



参加しての満足度

成果の自己評価

- 1、本年度の振り返り
 - ・本P Jは昨年スタートして、まち歩きを中心としたイベントで多くのシニアを募集、参加してもらえることを確認した。本年度も区報で参加者を募集して、100名を超える方々に参加いただいたが、本年度はその方々が、このP Jの目的である社会参加として、様々な地域活動に参加してもらいたいという点を意識して、地域活動の紹介を資料で示すだけでなく、実際に地域活動をやっている方々に話をしてもらうことや、参加者の相互交流やお互いの話を聞く機会を作るなどの工夫を加えた企画を5地域で実施した。その中で、シニアの参加者自身が自分が参加できる活動やイベントの情報を求めていることを確認できた。
 - ・本P J実行委員会は昨年度より、生涯現役ネットの構成団体のメンバー、社協推薦の地区サポーター、ボランティア協会のメンバーと推薦による個人での構成で進めたが、この協力関係を良しとしてレガシーにできそうである。
 - ・本年度は「シニアの社会参加のしくみ」を創るための勉強会を2回開催して、幾つかの知見を得た。来年度もできれば公開で実施したい。
 - ・本年度もコロナ感染防止で、全体の交流会や地域活動体験イベントなどが十分に開催できなかった。来年度は実施を計画したい。

2、今後の課題など（来年度のP Jについて）

- ・このP Jの目的である「シニアの社会参加のしくみ」を具体的にイメージして、目標を設定する必要がある。
- ・本年度の開催イベントに参加してくれた多くのシニアをフォローすることで、それを仕組みつくりにつなげる。
- ・上記に関して実行委員会でいくつか提案されている具体的な方策を実施するように進めたい。

以上

(3) ホームページ委員会

**2021(令和3)年度「せたがや生涯現役ネットワーク」
ホームページ委員会報告書**

主旨	<p>2012（平成24）年度以来続けてきた生涯現役ネットワークのホームページの運営管理は、2018年度からホームページ委員会に引き継がれた。このホームページは、生涯現役ネットワークおよびその会員団体の活動情報を発信したり、会員団体のホームページとのリンクを張るなど、会員団体間の情報共有のツールであり、各会員団体が相互に積極的な利用を図ることにより、より活発な活動を推進することを目的としている。</p>																				
事業実績・評価	<p>事業実績) 次の活動を行った。</p> <p>①HPの運営方針は、昨年度と同様に、情報収集については委員全員で担当し、HPの更新作業については、マニュアルに沿って、誰でも更新作業が出来るようにした。</p> <p>②ネットワークの活動情報や会員各団体のイベント情報を広報した。会員団体からの個別の依頼に応じてイベント情報を掲載したほか、委員各位が収集した情報を掲載した。定例的な活動については定期的に情報収集して掲載した。また区報などに掲載された情報の中から会員団体のイベント情報を得て、HPに転載した。</p> <p>③新型コロナウイルス感染第5波のため秋口までは活動ができず、1月から第6波が始まったため、すべての活動が自粛モードに戻り、全体的に活動状況は低迷した。</p> <p>④「生涯現役フェア」について、HPによる広報と参加申込受付窓口を提供し、また途中で無観客開催・YouTube配信に変更したことを受けて、HPで告知し、フェア終了後はYouTubeの見逃し配信に協力した。またフェアに関連して団体紹介のページを新設し、PRに務めた。</p> <p>⑤世話人会や事務局から要望のあった情報を掲載した。</p> <p>⑥HPへの問い合わせについては、事務局や代表と相談して、対応した。</p> <p>評価) 2018年度から委員会体制になり、安定的な運営ができるようになった。今年度は団体活動が自粛されたため、HPに掲載されたイベント件数は305件（昨年度は313件）にとどまった。今年度は生涯現役フェアの直前に岡崎がケガで緊急入院し、急遽真貝が対応する事態が生じたが、中断することなく更新することができ、広報担当世話人やフェアのIT班と緊密な連携をとることができた。</p> <p>現在のホームページ委員は、石川令子、岡崎宏、片岡龍次、真貝高三、横地彦太郎の5名。（敬称略、五十音順）</p>																				
会計報告	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%;">収入</td> <td style="width: 15%;">運営費</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">60,000円</td> <td style="width: 45%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>支出</td> <td>HP更新作業費</td> <td style="text-align: right;">3000円 × 12月 = 36,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>会議・活動費</td> <td style="text-align: right;">6000円 × 4回 = 24,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">60,000円</td> <td></td> </tr> </table>		収入	運営費	60,000円			支出	HP更新作業費	3000円 × 12月 = 36,000円				会議・活動費	6000円 × 4回 = 24,000円				計	60,000円	
	収入	運営費	60,000円																		
	支出	HP更新作業費	3000円 × 12月 = 36,000円																		
		会議・活動費	6000円 × 4回 = 24,000円																		
		計	60,000円																		

令和3年度 生涯現役ネットワーク 会計報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 一般会計

収入の部

項目	R3当初予算	収入額	対R3年予算比	備考
前年度繰越金	263,407	263,407	0	
年会費	104,000	100,000	▲ 4,000	
利息	0	3	3	
寄付	0	50,000	50,000	
合計	367,407	413,410	46,003	

支出の部

項目	R3当初予算	支出額	対R3年予算比	備考
世話人会運営費	30,000	21,000	▲ 9,000	
ホームページ管理費	60,000	60,000	0	
プロジェクト支援金	30,000	10,000	▲ 20,000	
消耗品費	5,000	1,440	▲ 3,560	
郵送、通信費	5,000	0	▲ 5,000	
Zoom有料版契約料	26,400	26,400	0	
パンフレットデザイン費		50,000	50,000	
パンフレット増刷印刷費		59,278	59,278	
パンフレット修正材料費		10,000	10,000	
臨時総会リモート会場下見及び会場費		4,000	4,000	
通帳無利子切り替え印紙代		200	200	
特別会計精算振込手数料		440	440	
小計	156,400	242,758	86,358	
予備費	211,007	170,652	▲ 40,355	
合計	367,407	413,410	46,003	

(収入額合計) 413,410 - (支出額合計) 242,318 = 170,652

差引残高 170,652円は、令和4年度に繰越いたします。

2. 特別会計

収入		R3当初予算額	収入額	対R3年予算比
特別会計	(1) イベント			0
	講演会入場料	50,000	0	50,000
	区補助金	470,000	470,000	0
	(2) シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト			0
	参加費			0
	地域活動体験参加費 (500円×50名)	25,000		25,000
	せたがや街歩き講座参加費 (500円×30名)	15,000		15,000
	区補助金	831,000	831,000	0
	計	1,391,000	1,301,000	90,000

支出		R3当初予算額	支出額	対R3年予算比	備考
特別会計	(1) イベント	520,000	460,629		
	出演料	200,000	242,000	42,000	講演料220,000円+事前収録による追加経費22,000円
	イベント保険料	10,000	900	▲ 9,100	
	チラシ・ポスターデザイン費	20,000	20,000	0	生涯現役フェア周知ちらし10,000円+事後ちらし10,000円
	チラシ印刷費	50,000	12,161	▲ 37,839	生涯現役フェア周知ちらし7,271円+事後ちらし4,890円
	消耗品費	15,000	7,336	▲ 7,664	事務用品費4,500円+コロナ対策費2,836円
	通信費	20,000	0	▲ 20,000	
	実行委員・当日スタッフ交通費及び弁当代	45,000	28,000	▲ 17,000	1,000×28名
	出展・出演団体事務費補助	50,000	0	▲ 50,000	
	実行委員会議交通費	40,000	0	▲ 40,000	
	紹介動画編集作業費・当日撮影運営作業費・事後YouTube動画編集費	0	70,000	70,000	
	オンライン参加者受付業務	0	10,000	10,000	
	振込手数料	0	550	550	芸能事務所(330円)+行事保険(220円)
	会議室使用料	0	1,400	1,400	レンタルスペース(笑恵館)キャンセル代等
	パンフレット作成費	70,000	68,282	▲ 1,718	ガイドブック作成費
	(2) シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト	871,000	401,426		
	事業経費	706,000	273,455	▲ 432,545	
	打合せ会議費(交通費)	60,000	71,500	11,500	500*延べ143名出席(実行委員会9回)
	打合せ会議室借用料	16,000	4,150	▲ 11,850	実行委員会9回+各GRイベント使用
	チラシ作成(デザイン料)	40,000	30,000	▲ 10,000	実行委員募集、イベント参加者募集チラシ
	チラシ印刷費	40,000	27,901	▲ 12,099	全体+玉川・世田谷GR
	地域活動体験講師謝礼(ゲスト講師)	10,000	70,000	60,000	全12名
	地域活動体験謝礼(補助スタッフ)	60,000	66,000	6,000	当日スタッフ(実行委員)謝礼延べ33名
	地域活動受け入れ団体謝礼	30,000	0	▲ 30,000	
	街歩き講師謝礼(ゲスト講師)	75,000	0	▲ 75,000	
	街歩き謝礼(補助スタッフ)	300,000	0	▲ 300,000	
	街歩き実地調査(交通費)	75,000	0	▲ 75,000	
	行事保険	0	3,904	3,904	
	共通経費	165,000	127,971		
	文具事務用品	50,000	30,711	▲ 19,289	イベント開催グッズ、文房具
	資料コピー代	0	58,640	58,640	コピー代、インク用紙代、会議資料等
	通信費	40,000	10,140	▲ 29,860	郵便料
	企画運営管理費(会計業務等)	25,000	25,000	0	会計業務
雑費	50,000	3,480	▲ 46,520	緊急対応、紙芝居道具搬入	
計	1,391,000	862,055	▲ 528,945		

上記のとおり、報告します。

令和4年4月18日 会計

石川 令子 (印)

監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告します。

令和4年5月13日 会計監査

真貝 高三 (印)

令和4年5月13日 会計監査

松本 富美子 (印)

第3号議案 令和4年度世話人および役職の選任について

(組織及び運営体制)

第5条 ネットワークに、総会において選任した会長、副会長、世話人、会計監査を置く。

- 2 世話人は、4名以上とし、議決権を持つ者(以下「委員」という。)のなかから公募し、現在の世話人会が推薦するものとする。
- 3 世話人で構成される世話人会は、総会の決定により、具体的な企画・立案・事業実施を行う。
- 4 世話人の任期は1期2年間とし、再任も含めて通算3期までとする。再任の場合は世話人会の推薦を必要とする。
- 5 世話人の欠員補充は、総会の承認により行い、欠員者の任期を引き継ぐ。
- 6 世話人代表・副代表・会計担当は1名とし、世話人の互選により、代表・副代表・会計担当を1名ずつ選任する。世話人代表は会長を、副代表は副会長を兼務する。
- 7 会計担当は、会計簿等を備え、収入支出の状況を整理し、会計年度末に会計報告を行う。
- 8 会計監査は2名とし、会計年度末に監査を行う。なお、任期は2年間とし、再任は2期までとする。

令和4年度世話人

役職	氏名	団体名	任期
代表	兜山 好直	世田谷区健康体操連盟	3期2年目
副代表	河上 勇	世田谷砂場クラブ	2期1年目
会計	今村 眞展	地域デビューの会	1期1年目
	秋山 宣興	ひだまり文化研究会	2期2年目
	横地 彦太郎	世田谷区誌研究会	1期2年目
	中島 有二	パソコンクラブ優遊会	1期1年目
	盛田 佐保子	劇団・せたがや創作紙芝居	1期1年目

令和4年度会計監査

氏名	団体名	任期
松本 富美子	食・生活・安全未来協会 (NPO 法人東京木村式自然栽培推進協会)	2期2年目
真貝 高三	世田谷地域デビューの会	2期1年目

第4号議案 令和4年度事業計画について

(1) 運営体制

内容	役割分担等
総会 年2回ほど	世話人: 議題内容の事前確認、当日説明 区(事務局): ・ 資料(開催通知、会議資料、議事録)の作成および送付 ・ 会場予約
世話人会 年5回ほど (必要に応じて、Zoom 会議を行う。)	世話人: プロジェクトや新規入会会員の承認等 区(事務局): ・ 資料(会議資料、議事録)の作成および送付 ・ 会場予約 ・ 会員の入退会管理
プロジェクト	プロジェクトリーダー: ・ 企画運営を行う ・ 世話人会および総会での報告 区: 後援申請が認められたプロジェクトのみ、区後援事業として、チラシの配布協力をする
補助事業 ・ イベント(生涯現役フェア) ・ シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト ・ シニア Zoom サロン	実行委員: ・ 企画運営を行う ・ 世話人会および総会での報告 区: ・ 事業経費不足分について補助金支出 ・ チラシ配布、区のおしらせ掲載
ホームページ運営	ホームページ委員会: ・ 運営管理を行う ・ 世話人会および総会での報告
せたがや生涯現役ガイドブック改定	編集委員: デザイン編集、印刷製本手配を行う 区: 調査票の取りまとめ、最終校閲

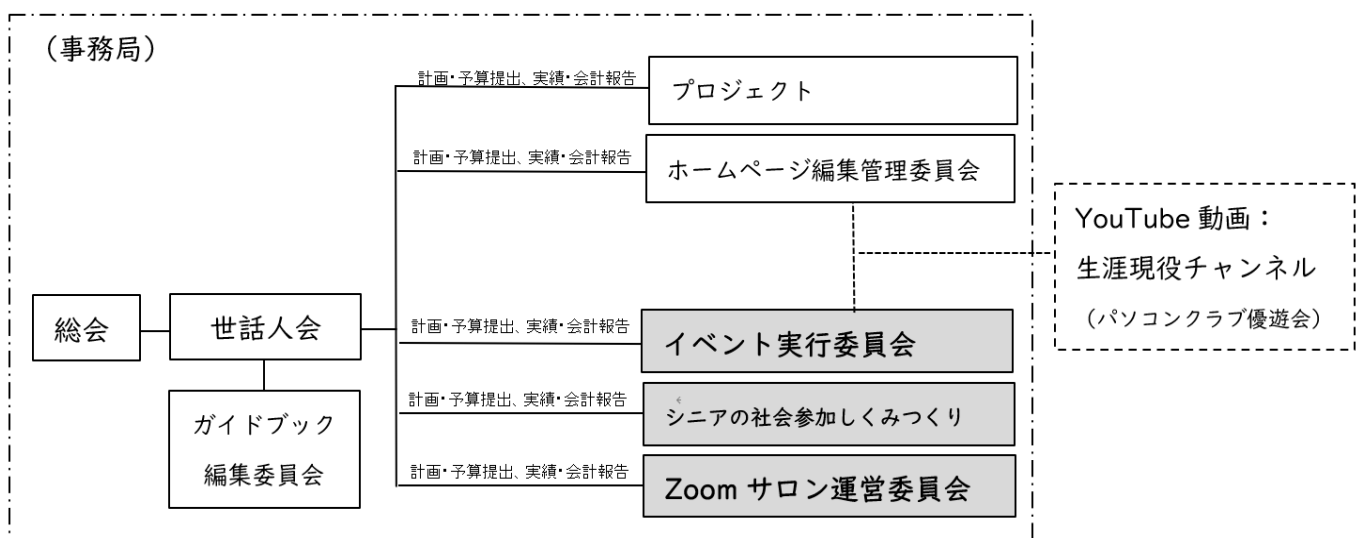


図1. せたがや生涯現役ネットワーク組織図(着色部は区の補助事業)

(2)プロジェクト

(プロジェクト)

第7条 会員は、第2条に規定するネットワークの目的を実現するため、生涯現役の社会づくりを推進し、広く区民に呼びかけるプロジェクトを提案・実施することができる。

2 プロジェクトは、ネットワークに加入している2団体会員以上が共催・協力・連携等により実施する事業又は団体会員が単独で実施する事業とする。ただし、団体会員が単独でプロジェクトを実施する場合には以下に掲げる条件を満たさなければならない。

(1)内容が社会貢献にふさわしいものであること。

(2)収益を目的にしないこと。

(3)団体の経常的な活動ではないこと。

3 プロジェクト支援金額及び件数は別途世話人会が定める。

4 同一団体、同一テーマでのプロジェクトの応募は3年を上限とし、3年を超えるプロジェクトについては別途世話人会で協議する。

5 プロジェクトの実施希望団体は、計画案を原則としてプロジェクト実施前年度の2月又は実施年度の7月までに世話人会に提出する。

6 世話人会でのプロジェクト承認をもって、プロジェクトの構成員が推薦する者が「プロジェクトリーダー」となる。

7 プロジェクトの実施に先立ち、会員にプロジェクトの参加募集をすることができる。

8 プロジェクトに関するすべての権限及び責任は、プロジェクトの構成員に帰するものとする。

9 プロジェクトリーダーは、世話人会にてプロジェクトの進行状況報告を行い、総会にて成果報告を行うこととする。

番号	プロジェクト名
1	世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会(第2回)

令和4年度「せたがや生涯現役ネットワーク」プロジェクト企画書

プロジェクト名	世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会(第2回)
開催日時	令和4年9月17,18日、又は10月15,16日あるいは11月26,27日 (上記3候補から、募集開始時期も含めて新型コロナ感染状況を見て決める)
会場	銚子市・銚子電鉄、大多喜町・大屋旅館、いすみ市・ポッポの丘 (集合場所:東京駅)
事業主体	主体となる団体:世田谷風景じゅく 連携する団体:あり・なし 「あり」の場合団体名→世田谷砂場クラブ
テーマ	世田谷にゆかりの車両等に関連した千葉県内の施設群を巡る1泊2日の見学会を企画し、多くの同好者を集めて新しい交流・親睦を図る。
趣旨	かつて世田谷を走った電車が、2度の定年退職を経て、今も銚子電鉄で現役続行中。大多喜町大屋旅館は、かつての三軒茶屋の石橋楼を彷彿させる文化財でかつ現役の旅館。ポッポの丘には世田谷でかつて活躍した電車の台車に再会できる。こうした世田谷にゆかりの車両・旅館を効率的に見学する会を催すことで、世田谷風景じゅくの会員あるいは区内の鉄道ファンが交流する場を提供する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度実施企画と同じであるが、繰り返すことで、仲間を増やし親睦を深める ・参加者募集(チラシ配布・生涯現役ネットワークHP活用など) ・見学会を企画、実施・・・「別紙1」参照←添付省略=P2のチラシと同一 ・報告書を作成(参加者アンケート、実施者の気づき)・公開し、今後の類似した交流事業の促進に役立てる。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の仲間を増やす。 ・ネットワーク加盟の複数団体間の交流・親睦が深まる。 ・条例に基づく「世田谷の地域風景資産」及び「風景づくり活動」について参加者の興味と関心が深まる。
経費予算見積	収入:参加者会費@21,000円×(5~10人)=105,000円~210,000円 支援費=10,000円 総額 115,000円~220,000円 支出:交通費12,000円×人数(5~10人)=60,000円~120,000円、 宿泊費(1泊2食)9,000円×人数(5~10人)=45,000円~90,000円、 チラシ印刷代10,000円 総額 115,000円~220,000円

(3) イベント

本事業は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じたうえで実施し、今後の新型コロナウイルスの感染状況等によっては事業内容やスケジュールを変更する。

補助事業の名称	(仮称)「生涯現役フェア」
補助事業のねらい	「せたがや生涯現役ネットワーク」は、設立目的の一つとして、中高年世代に対する地域活動を取り入れたライフスタイルの提案や、中高年世代の地域活動への参加促進と活動機会の拡大を図るため、地域の活動団体、区民、企業及び教育機関等に対し、生涯現役の推進のための理解の促進・啓発に関する情報交換及び交流の場を提供することをうたっている。本イベントを開催することで、参加者の地域活動のきっかけとなることをねらいとする。具体的には、生涯現役を実践している著名人による講演会を開催するとともに、本ネットワーク参加団体による舞台発表や展示を実施する。
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施期間	令和5年2月27日(月)
補助事業の実施場所	成城ホール(多目的ホール、4階集会室A～E)
予定参加人数等	180名
補助事業の実施方法	◆年間スケジュール(予定) 令和4年 7月 実行委員募集、講演者検討 8月 イベント出展団体及び当日スタッフの募集 9月 ポスター・チラシデザイン、当日スケジュールの検討 12月 来場者募集開始 令和5年 1月 最終確認、イベント出展団体及び当日スタッフへの説明 2月 イベント実施 3月 実施報告書の提出
補助事業の期待できる成果	生涯現役社会づくりを目指す「せたがや生涯現役ネットワーク」の存在と役割を広く区民に周知すると同時に、各参加団体のPRを図り、社会的活動、特にボランティア活動で社会を支えてくれる多くの人材を獲得できる。

(4)シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト

本事業は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じたうえで実施し、今後の新型コロナウイルスの感染状況等によっては事業内容やスケジュールを変更する。

1	事業名称 (仮称) シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト 2022	
2	(1)事業の目的	<p>①背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の社会は少子高齢化が進む中、多くの子育て世代は共稼ぎなどで、昼間は地域を不在としていることから、地域が必要とする助け合いなどの社会活動に人手が不足している。 ・退職後のシニアは、会社生活が長いために、自分が生活している地域のことを知らずに、地域に知り合いや友達がほとんどなく、家に閉じこもりがちになるケースが多くある。 ・退職後のシニアが、地域に友達を作り外出して健康的な生活を維持すること、地域の社会貢献活動に参加してくれることを促す場やしかけが必要とされており、特にサポートを必要としている方々や、地域の問題解決に必要なシニアの知識や経験を活かすコウデュネイトのしくみづくりが急務である。 <p>②事業の目的</p> <p>シニア世代の地域活動や社会貢献活動への参加を促すこと、またシニアの地域社会での活躍の場を創ることを目的として、既存の組織や制度を活用し、地域活動団体のネットワークの強化に取り組みながら、世田谷に適したシニアの社会参加のしくみづくりを目指す。</p>
	(2)事業の実施方針	<p>◆昨年度実施したP Jの課題に取り組む(実行委員アンケートから)</p> <p>昨年(令和3年度)に取り組んだ「シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト 2021」では、シニア世代の人集めの実績を重ねた上で、具体的な地域活動の紹介などを工夫したイベントを5地域で実施したが、シニアの社会参加のしくみづくりまでには至らなかった。</p> <p>これは、本P Jが実行委員の募集から、5地域の分散実施まで、コロナ感染防止処置の中で進められたこともあるが、いずれにしても令和4年度は、実行委員の中で、シニアの社会参加のしくみづくりを十分検討する場を設けることを含め、以下を方針として進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) シニアの社会参加のしくみづくりのオープンな勉強会を複数回開催する。 2) 街歩きを含めたシニアの参加イベントを区内5地域で開催する。 3) ネットワークの各団体を始め、ボランティア協会や社協の関係団体への活動体験のプログラムを実施する。 4) P J参加者・関係者の全体交流会を開催する。 5) 「生涯現役フェア」を活用してP J参加者にネットワーク団体や地域活動への参加を促す。
事業の内容及び実施方法	(3)事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) シニアの社会参加のしくみづくりの勉強会を複数回開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・P J実行委員が企画して、オープンな勉強会、社会参加の意義やしくみづくりの課題と手段を探る 2) 「まち歩きを含めた地域イベントと地域活動紹介イベント」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷の5地域で、シニア世代の参加者を募集 ・チラシ作成、配布 ・区報に参加者募集を掲載 ・各団体から当日スタッフの協力を得る。 3) 地域活動体験のプログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代の地域活動体験の希望者を募集し、ネットワークの各団体を始め、ボランティア協会や社協の関係団体への活動を紹介し、活動を体験するプログラムを実施する。 ・世田谷の5地域で、シニア世代の参加者を募集

		<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ団体の募集 ・チラシ作成、配布 ・各団体での活動体験の実施、活動報告会や懇親会の開催 <p>4) 活動記録の作成と生涯現役ネットワークホームページ掲載</p> <p>◆上記を実施しながら、次年度以降の活動を「実行委員会」にて研究する。</p> <p>1) シニアの社会参加の支援者や支援リーダーの育成を目的とした「講師派遣」の検討</p> <p>2) シニアの社会参加ニーズのアンケート調査</p> <p>3) 社会福祉協議会や世田谷ボランティアセンターの事業と連携のしくみづくり</p> <p>4) 活動団体のメンバー募集や活動PRに関するIT支援のしくみづくり</p>
	(4)実施体制	<p>1) 本プロジェクトは、生涯現役ネットワークの世話人会が、事業計画と予算、決算などの事業責任をもって、具体的な活動はプロジェクトの実行委員会を組織し進める。</p> <p>2) 実行委員と協力者の呼び掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯現役ネットワークの各団体に実行委員を公募する。 ・世田谷ボランティア協会と世田谷区社会福祉協議会に正式に実行委員の推薦を依頼する。 ・実行員以外にPJ協力者を募る（大学の研究室やネットワーク団体の会員など・・・） <p>3) 集まったメンバーで実行委員長、副委員長、会計などの責任者を選出し、参加者の自主的な市民活動として、活動を進める。</p> <p>4) 実行委員会は定期的に開催し、活動内容や進捗を生涯現役ネットワークの世話人会へ、逐次報告する。</p> <p>5) PJ実行委員会のメンバーによる事務局活動を、市民活動・生涯現役推進課が支援する形で本PJの事業を実施する。</p>
	(5)令和4年度事業完了予定日	令和5年3月31日
3 事業の成果や効果	(1)期待される具体的な成果や区民・地域への波及効果	<p>1) 講座参加者が、生涯現役ネットワーク参加団体のメンバーになってくれること、また、参加者のアンケートなどで、本事業の効果を把握し、事業内容を改善するようにPDCAを回すことにより、シニアが気軽に社会参加するきっかけを作るしくみとなる。</p> <p>2) 生涯現役ネットワーク参加団体が、5地域でのイベント開催や「地域活動体験」での講師やスタッフを担当することや、受講生の受け入れなどを通じて、それぞれの活動の意味を再確認し、また活動自体を広める機会とできる。</p> <p>3) 講座参加者募集などで、生涯現役ネットワーク加盟団体等の協力を得て、シニアの社会参加のしくみを効果的なものにできる。</p> <p>4) 講座参加者の交流イベントに地域活動団体にも参加してもらうことで、シニアの社会参加の受け皿となる生涯現役ネットワーク参加団体同士の活動を知り合い、お互いに顔の見える関係を作って、それぞれの活動を協力し合うきっかけとできる。</p>
	(2)事業の成果の活用方法、将来の展開	本項前記（1）期待される具体的な成果を通して、世田谷区の共生社会を実現するための「地域包括ケアシステム」のしくみづくりに寄与していく。

事業計画書の2

時期	内 容
令和4 年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 4/22日 P J 実行委員会（第1回） ・ 2022年度のP J 実施計画の検討・確認（1） ◆ シニアの社会参加のしくみづくり P J 2022 の実行委員の募集
5月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第2回） ◆ シニアの社会参加のしくみづくりの勉強会（第1回）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第3回）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第4回） ◆ 区報によるP J のイベント参加者募集 ◆ シニアの社会参加のしくみづくりの勉強会（第2回）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第5回） ◆ 「P J のイベント」の実施（1）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第6回） ◆ シニアの社会参加のしくみづくりの勉強会（第3回）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第7回） ◆ 「P J のイベント」の実施（2） ・ 「地域活動体験」の実施
11月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第8回） ◆ シニアの社会参加のしくみづくりの勉強会（第4回）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第9回） ・ P J のイベントの状況確認、報告会、交流会の準備確認、など ◆ 「地域活動体験」の報告と交流会（受け入れ団体も参加） ◆ 「P J のイベント」の実施（3）
令和3 年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第10回） ◆ 「P J のイベント」の参加者交流会 ◆ シニアの社会参加のしくみづくりの勉強会（第5回）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第11回） ・ 実施の記録や参加者アンケートなどのまとめ ◆ 生涯現役フェアの参加
3月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実行委員会（第12回） ◆ シニアの社会参加のしくみづくりの勉強会（第6回） ◆ シニアの社会参加のしくみづくり P J 2022 の報告書作成

(5) シニア Zoom サロン

1. 補助事業の名称

シニア Zoom サロン

2. 補助事業のねらい

(1)シニアの地域活動団体参加促進

地域デビューをしたい方に対して Zoom で相談に乗り、相談者のニーズに沿ったネットワーク加盟団体を紹介・地域活動に役立つ行政機関の紹介や情報提供を行い、シニアの地域活動参加を促す。

(2)シニア Zoom サロンを交流の場とする

コロナ時代の巣ごもりによる弊害を少しでも解消すべく、この Zoom サロンを情報交換の場・人と触れ合う場という「地域活動」と見なして常連参加者を増やして活発な活動にする。

3. 補助事業の期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日(単年度事業)

ただし、次年度も継続できるように目標を持って活動して予算申請する予定。

4. 補助事業の実施場所

リモート(Zoom)、区内施設

5. 補助事業の実施方法

(1) 組織

せたがや生涯現役ネットワーク内に公募を行って組織した Zoom サロン運営委員会(表1)により運営する。なお、4月以降も適宜メンバーを増やすこととする。

表1. Zoom サロン運営委員会メンバーと役割

氏名	所属団体	役割(案)
真貝 高三	せたがやすまほ研究会	委員長、MC
臼井 達郎	世田谷地域デビューの会	渉外担当
岡崎 宏	せたがや生涯現役ドットネット	広報、参加受付・メール配信
佐伯 京子	世田谷ウォーキングフォーラム	MC
大西 真由美	世田谷地域デビューの会	MC
小畑 崇	世田谷ウォーキングフォーラム	記録担当
中島 有二	パソコンクラブ優遊会	Zoom 技術指導担当
河上 勇	世田谷砂場クラブ	企画担当、参加受付・メール配信
熊井 誠	世田谷区健康体操連盟	企画担当、広報
今村 眞展	世田谷地域デビューの会	会計

(2) 行事

① Zoom サロン 12 回:偶数月第 3 土曜日 10:30～11:30、奇数月第 3 水曜日 10:30～11:30
運営委員が MC や相談員として対応する。希望者にはガイドブックを郵送する。

② Zoom サロン準備・反省 12 回:Zoom サロン前後に運営委員が準備と反省会

③ 運営委員会(対面)4 回:対面サロン企画、チラシデザイン、アンケート集計分析

④ 対面サロン 1 回:区内施設会議室で 12 月ころ開催(ゲスト講演、参加者数名も発表)

(3) 集客・広報

① チラシ:2 回作成、毎回 3,000 部印刷し区内施設と各加盟団体に配布し、積極的 PR 協力願う。 例)ウォーキングフォーラムの参加者へチラシ配布して勧誘

- ② ガイドブック:「地域活動への入口」のページにシニア Zoom サロン紹介記事掲載
 - ③ ホームページ:事務局(区)・ネットワーク・各加盟団体のHPに紹介記事とチラシ pdf 貼付け
 - ④ イベント活用:フェア申込者へ Eメールで開催案内、IT 講座受講者をサロンへ誘導
- (4) 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Zoom サロン	● 16(土)	● 18(水)	● 18(土)	● 20(水)	● 20(土)	● 21(水)	● 15(土)	● 16(水)	● 17(土)	● 18(水)	● 18(土)	● 15(水)
委員会他	運営委員会 ●		運営委員会 ●		運営委員会 ●			対面サロン ●		運営委員会 ●		
チラシ	————●					————●						
アンケート (Zoom 機能)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
計画・報告					次年度計画補助金申請 ●							決算報告 ●

6. 補助事業の期待できる成果

- ① シニアが Zoom で気軽に地域デビューの相談ができるので、特に退職後の地域回帰を図ろうとしている方々の助けとなる。
- ② 地域活動の経験豊富なスタッフが運営委員(相談員)になっているので、相談者の悩みに向き合うことができ、場合により個別の相談にのることもできる。
- ③ 相談者は、在宅のまま相談できるため、外出自粛中もシニアが安心して利用できる。
- ④ 対面サロンは、Zoom では得られない親近感をもたらし、相談しやすい雰囲気醸し出し、その後の Zoom でも効果が期待できる。
- ⑤ シニア対象の IT 講座受講者に「Zoom 練習・実践の機会」を提供し、シニアの能力維持向上に役立てる。IT 講座で人を集めてサロンへ誘導という「シニアの社会参加のしくみ」の一つになる。
- ⑥ ネットワーク各団体にとって、このサロンの場へ活動紹介講師を送り出すしくみが、ネットワークおよび各団体の活動に良い刺激となる(活性化する)。

【メトリック】…事業の評価尺度と目標値

- ① 延べ参加者数:年間延べ 80~150 人が当面の目標。200 人以上になったら大成功!
- ② リピーター数:毎回楽しみにして参加して下さる人が多いほど良い。ただし、毎回常連のみで新規参加者が増えない場合は、運営や広報に問題がないか見直して対策する。
- ③ 地域団体への入会者数:目標 1 人以上。「1 年間活動し ゼロでは問題!」と意識して集客する
- ④ アンケート:毎回 Zoom 機能で実施。設問回答・自由記載で評価。適宜運営方法を見直す。

(6) ホームページ委員会

2022(令和4)年度ホームページ委員会活動計画案	
委員会名	生涯現役ネットワーク ホームページ委員会
趣旨	このホームページは、ネットワークおよびその会員団体活動の情報を発信したり、会員団体のホームページとのリンクを張るなどの、会員団体間の情報共有のツールであることを理解していただき、各会員団体が相互に積極的な利用を図ることにより、より活発な活動を推進することを目的とする。
事業内容	<p>2012年度に立ち上げた生涯現役ネットワークのHPは、軌道に乗り、2018年度に委員会体制に変わったので、委員各位による情報収集力強化と安定的な運営が可能となった。</p> <p>2022年度は次の活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本年度も引き続き新型コロナウイルスの感染防止のため、各団体とも慎重な活動・運営を行うと思われるので、状況を見ながらHPの情報発信を柔軟に進めていくとともに、Zoomの活用も図っていききたい。 ② ネットワークの活動を広報する。 ③ 会員各団体のイベント情報を広報する。会員団体からイベント情報の提供を得て掲載するほか、定例的な活動をしている会員については定期的な掲載を行う。また区報などに掲載された情報の中から会員のイベント情報を得て、HPに転載する。 ④ HPを持っていない会員からの活動紹介や会報誌の紹介依頼により掲載する。HPを持っている会員からのリンク張りの依頼に対応する。 ⑤ 「生涯現役フェア」が行われる場合は、HPによる広報と参加申込受付窓口を設置する。オンライン開催に備えて、ZoomやYouTubeへの対応を図る。また各団体がYouTubeで活動紹介する場合、HPへの掲載に協力する。 ⑥ ネットワークのプロジェクトのイベントに、広報面で協力する。 ⑦ 世話人会や事務局から要望のあった情報を掲載する。 ⑧ その他、会員にとって有用と思われる情報を掲載する。 ⑨ HPへの問い合わせについては、事務局や会長と相談して対応する。 <p>ホームページ委員は、石川令子、岡崎宏、片岡龍次、真貝高三、横地彦太郎の5名（敬称略、五十音順、令和4年4月現在）</p>
期待される効果	生涯現役ネットワークおよびその会員の広報活動に貢献できる。委員会体制とすることにより、活用度の向上と安定的な運営ができる。
収入	収入：年間 60,000 円
支出	<p>HP更新作業費 3000円 X12月 = 36000円</p> <p>会議費（注） 6000円 X4回 = 24000円</p> <p>計 60000円</p> <p>注：委員の会議参加の交通費および情報収集のための活動費見合い</p>

第5号議案 令和4年度予算計画について

令和4年度の予算について、以下の通り執行する。

1. 会費の納入について

会則どおり、年2,000円の会費を徴収する。

2. 執行について

一般会計は会費を、特別会計は区補助金を主な財源とし、それぞれ所要の経費を執行する。

一般会計

2022年度（令和4年度）生涯現役ネットワーク予算計画
（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収入の部

前年より繰越	170,652円
年会費（団体） 令和4年度分52団体	104,000円
合 計	<u>274,652円</u>

支出の部

Zoom通信費（2,200円×12か月）	26,400円
世話人運営費	30,000円
ホームページ管理費	60,000円
プロジェクト支援金	30,000円
消耗品代	5,000円
郵送・通信費	5,000円

小 計	156,400円
予備費	118,252円
合 計	<u>274,652円</u>

特別会計（１）イベント

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
補助金	470,000	支出合計額－各事業参加費
講演会参加費	50,000	500円*100名
合計	520,000	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1) 事業経費		
出演料	200,000	講演者出演料
イベント保険料	10,000	400名*25円
チラシ・パンフレットデザイン費	30,000	募集用チラシ、事後チラシ、パンフレットの3種類
チラシ印刷費*	20,000	募集用(8,000円) 事後(5,000円)、スタンプラリー用*(7,000円)
実行委員・当日交通費及び弁当代*	45,000	当日交通費 500円*45人 弁当代 500円*45人
IT機材レンタル代・IT班作業費	50,000	参加団体への助成金を取り止め IT班関連費用に充当
会場装飾費用*	20,000	横断幕等印刷代、演台用生花など
参加者受付業務**	10,000	受付確認メール送信および電話受付、リマインダーメール2回送信
実行委員会議交通費	40,000	500円*8回*10人
パンフレット作製費	70,000	生涯現役ネットワーク通年用
小計(ア)	495,000	
2) 共通経費		
消耗品費	15,000	
通信費**	10,000	切手、ハガキ、FAX、印紙等
小計(イ)	25,000	
合計	520,000	

特別会計（２）シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト

1 区補助金該当部分

[収入]

費目	金額(円)	積算内訳
寄付	30,000	関係者の寄付
区補助金	780,000	
計	810,000	

支出1

費目	金額(円)	積算内訳
(1)事業経費		
打合せ会議費(交通費)	120,000	実行委員 20名(平均) 500円/回*12回
打合せ会議室借用料	40,000	勉強会6回、実行委員会12回、交流会など2回2,000/回
チラシ作成(デザイン料)	80,000	4種類(実行委員募集、イベント参加者募集、勉強会、地域活動体験)
チラシ印刷費(送料込み)	50,000	両面カラーA4*1,000枚×2種類、勉強会用/地域活動体験用*各250枚
しくみづくり勉強会講師謝礼+交流会講師(ゲスト講師)	40,000	(10,000円/人) 講師謝金×3人(勉強会)、1人(交流会)
シニア参加者募集イベント講師謝礼(ゲスト講師)	50,000	講師謝金1人×5地域(5,000円/人)×2回
募集イベント・地域活動紹介スタッフ謝礼(外部スタッフ)	50,000	外部スタッフ謝金×2人×5地域(5,000円/人)
募集イベント・地域活動紹介スタッフ謝礼(実行委員)	100,000	実行委員スタッフ謝金×3人×5地域(2,000円/人)+交通費6,000円×5地域
募集イベント実地調査費	50,000	スタッフ謝金×2人×5地域(2,000円/人)+交通費6,000
募集イベント参加者アンケートデータ入力、分析作業	30,000	100分・30時間
小計(ア)	610,000	
(2)共通経費		
文具事務用品	80,000	実行委員会資料コピー等
通信費	40,000	宅配便、参加者フォロー情報提供資料郵送料(84円×200円)など
企画運営管理費	30,000	会計業務
雑費	50,000	コロナ対策グッズ、イベント開催時の物品搬入など
小計(イ)	200,000	
計	810,000	

2 その他経費

費目	金額	積算内訳
交流会経費	実費	予算計上せず
協力団体・個人の通信費	実費	予算計上せず

特別会計（3）シニアZoomサロン

【収入】		
費目	金額（円）	積算内訳
補助金	247,600	
合計	247,600	
【支出】		
費目	金額（円）	積算内訳
1) 事業経費		
人件費（Zoom サロン分）	96,000	1,000 円*8 人*12 回
人件費（対面オフ会）	16,000	2,000 円*8 人*1 回
運営委員会	48,000	1,500 円*8 人*4 回
講師謝礼	36,000	3,000 円*12 団体
会議室利用料	3,000	運営委員会 500 円*4 回 オフ会 1,000 円*1 回
オフ会スピーチ謝礼	3,000	ゲストスピーカー1 人
チラシデザイン、印刷費	30,000	
小計（ア）	232,000	
2) 共通経費		
文具事務用品・資料コピー代	10,000	
郵便代	5,600	ガイドブック郵送 140 円*40=5,600 円
小計（イ）	15,600	
合計	247,600	

第6号議案 せたがや生涯現役ネットワーク会則の改正について

◎第10条

1 改正の主旨

事務局が所属する課名の変更があったため。

2 改正点

(1) 改正前

第10条 事務局は生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課に置くこととする。なお、事務局の職務は、別に定める「せたがや生涯現役ネットワーク事務局運営規則」に基づくものとする。

(2) 改正後

第10条 事務局は生活文化政策部市民活動推進課に置くこととする。なお、事務局の職務は、別に定める「せたがや生涯現役ネットワーク事務局運営規則」に基づくものとする。

第1号報告 会員入・退会について

(1) 会員入会について

番号	入会承認日	団体名
1	令和4年2月3日	特定非営利活動法人カプラー
2	令和4年2月3日	中高年社交ダンスサークル
3	令和4年5月19日	NPO 法人東京木村式自然栽培推進協会

(2) 会員退会について

番号	団体名
1	いなせなおやじ塾
2	一般社団法人日本スポーツ吹矢協会世田谷教室
3	食・生活・安全未来協会

令和4年5月23日現在、52団体加入